

オリーブ油 品質認証

10月下旬、小豆島町安田の空井農園では、収穫から24時間以内の実だけを採油機にかけていた。新鮮な実からとったオイルは独特の辛みや苦み、甘みの特徴。経営者の空井和夫さん(68)は「味のバランスと香りにこだわっている」と話す。同農園の製品は、イタリアで出版される世界的な格付けガイド本「フロソレイ」に掲載され、高い評価を受ける。

小豆島は国内の栽培を一手に担ってきた。NPO法人小豆島オリーブ協会によると、純小豆島産のオリーブ販売価格は1800円で4千円前後から、高値だが、例年1月から売り出し、3～4月には売りを始める。輸入が増え、新興の国内産地も現れるなか、本場イタリアでも評価されてきた品質をアピールする狙いだ。

県が独自基準

市場調査会社インテージの全国個人消費者パネル調査(SCI)をもとに、日清オリーブグループがまとめたオリーブオイルの家庭向け国内販売量は2011年度の2万3809トンから、13年度は3万4771トンに増えた。日清オリーブの担当者は「かける、あえるなど生使いも増え、和食にも使われるようになった」と話す。財務省の貿易統計によると、2013年の輸入量は5万3813トンで、10年間で73%増。ただ、ラバルは外国産だけではない。農林水産省によると、06年のオリーブ栽培面積は全国61都府、約

国内外産に対抗 ロゴ表示

9割が香川だった。だが、11年は207都府に広がり、香川は約7割に。熊本県をはじめ九州の栽培面積が広がってきた。「フロソレイ」の12、13年版では、香川県にある7、12社の製品が高い評価を受けたが、14年版には熊本県天草市の製品も初登場した。休耕地対策として10年度から栽培に取り組んできた天草市は、植栽や採油場整備などに補助金を出している。市産業政策課は「成木になるのはこれから。オリーブ産業を政策の柱にしたい」と意気込む。

国内ではほぼ唯一の産地だった香川県にとって他県の参入は脅威だ。日本で最も狭い県だけに、栽培面積の争いになることを関係者は危惧する。久利佳秀・小豆島町オリーブ課長は「大量に安価な国産オイルが出てくればシェアを大きく侵食される可能性がある。品質で対抗していきたい」。新設された「かがわオリーブオイル品質表示制度」では、県産の実でオイルをつくり、一定要件を満たした県内に製造拠点がある業



空井農園の採油作業。オリーブの実の収穫後24時間以内に採油機にかけている小豆島町安田



公正中立がカギ

日本オリーブオイルソムリエ協会の多田俊哉・代表理事のコメント 日本では表示規制がなく、「エキストラバージン」が言いたい放題の状態が放置されているため、外国産、国産を問わず、風味の悪いものも流通している。香川県の品質認証制度は県産オイルの差別化が第一の目的のようだが、消費者保護の観点から、品質のお墨付きは願ってもない情報であり、制度の公正中立な運用がカギになる。

待機児童 年度途中もゼロ

県子ども支援計画 素案に数値目標盛り込む

県は12日、認可保育所の待機児童をなくすことや保育士確保などに関する数値目標を盛り込んだ「健やか子ども支援計画」の素案をまとめた。安心して子育てができる環境を整えることで、少子化に歯止めをかける狙いがある。

年度に23人だった「保育士人材バンク」を通じた復職人数を19年度には累計で173人にする。仕事と子育てを両立しやすい環境づくりに積極的に取り組んでいるとして県が認証する企業も134社(13年)から200社に。1歳6カ月児と3歳児の健診受診率をそれぞれ93・2%(12年)から96%、89・3%(同)から94%に引き上げる。

招待客ら250人に 来季の雪辱誓う

ガイナースお礼報告会

四国アイランドリーグplusの香川オリーブガイナースの報告会が12日、高松市内のホテルであり、約250人の招待客らを前に来季の雪辱を誓った。



来季の活躍を誓う西田真一監督(右)と高松市野球ドラフト会議で指名された。

強盗致傷 被告に懲役4年

裁判員裁判判決

今年1月、高松市内のマンションに男らが押し入り、現金や貴金属を奪ったとされる事件で、実行犯の仲間集めに関わったとして強盗致傷助犯に問われた東京都中央区の人材仲介業清水元被告(21)に対する裁判員裁判判決は、懲役4年。

「提案は元税務部長」 証言に食い違い

白票二重集計

地裁公判で 元消防局長

昨年7月の参院選をめぐる高松市選挙管理委員会の票不正操作事件で、公職選挙法違反(投票増減)罪に問われている元市税務部長の大嶋康民被告(60)と元市

消防局長の山下光被告(56)の公判が12日、高松地裁であった。前回の大嶋被告に続き、山下被告への被告人質問があった。

白票を二重集計することを提案したのは「大嶋被告だ」と改めて主張。自らは「最終的には持ち帰り票として処理するしかない」と思っていた。「大嶋被告に『白紙票でしまいにするしかな』と言われ、最初は『何のことかわからなかった』などと述べた。

「山下被告が提案した」と証言していた。また、同罪と封印破壊罪に問われている元市選挙管理事務局長の山地利文被告(59)について山下被告は、白票の二重集計を提案した際「首を縦に振った」と証言。「最終的な判断を事務局長がした」という認識を示した。



高松総局
〒760-0018
高松市天神前2-1
☎ 087(833)4141
fax (831)5737
mail:takamatsu@asahi.com

観音寺支局
〒768-0061
観音寺市八幡町
1-8-39
☎ 0875(25)3851
fax (25)2551

丸亀支局
〒763-0065
丸亀市塩屋町
5-10-32
☎ 0877(22)2450
fax (25)3081

購読のお申し込み
配達お問い合わせ
0120-33-0843
(7:00~21:00)

購読・配達のご用は
高松 (837)2802
(816)5519
坂出 (45)3493
観音寺 (23)7867
東かがわ (26)1028
丸亀 (28)2980
土庄 (62)5525

広告のご用は
高松 (861)4797

折り込みの問い合わせは
朝日オリコミ四国
087(812)2811

YAMAHA

ひとつの役目をつとめ終えた
想いのつまったピアノ。
ヤマハが大切に再生いたします。